



富士見中学校2年生 職場体験学習 10月25日(火)～10月27日(木)

富士見中学校の2年生116名が町内や近隣市町村の事業所、商店、施設などで職場体験学習をおこないました。「広報ふじみ」へも3名の生徒さんが2日間体験しにきてくれました。体験の様子や取材したことを記事にしてもらいましたのでご紹介します。

「富士見の景観」取材レポート

1日目、「富士見の景観」の取材に行ってきました。私たちは加々見先生と信濃境のつつじヶ丘公園に行きました。この公園は八ヶ岳が噴火した時にできた流山（ながれやま）だということを教えていただきました。公園には桜やイチョウの木があり、紅葉がとてもきれいでした。この公園は広くて、遊具があり景色も良く、大人も子どもも楽しめるそうです。



次に、不動清水と盃流しに行きました。不動清水には、長命水という飲むことができる水があったり、お地蔵さまがいました。紅葉もとてもきれいでした。盃流しでは、大きな岩の迫力がすごかったです。



左から、樋口華恋さん
内藤瑞貴さん
小池大夢さん



職場体験実習を取材してきました

富士見保育園

富士見保育園では2名が職場体験を行いました。この日は「ごっこ遊び」の日で、富士見中学校の生徒は子ども達と仲良くごっこ遊びを楽しんでいました。保育園の先生に仕事で大変なことについてお聞きしました。「大勢の子どもがいて、それぞれ違うからそれに対応していくのが大変」と話していました。体験した生徒は、「子ども達が楽しそうにしているとうれしかった。先生たちの大変さがわかった。」と話していました。



菓子工房 キャトル・セゾン

キャトル・セゾンでは3名が職場体験を行い、クッキーの成形やケーキを包む仕事をしていました。お店が忙しそうでしたが、体験者一人一人がとても頑張っていました。体験者は「ケーキを箱に入れる時にフィルムを貼るのが難しかったけど楽しかった。」「臨機応変に動くのが大変だった。」「言われたことをこなすのが大変だけど楽しかった。」と話していました。



体験してみて・・・

最初は取材をするときにすごく緊張してあまり聞くことができませんでした。でも、取材内容がないと記事にならないので、とにかくたくさんのお話を聞くのが大変でした。取材を通して人と話すことがとても大切になってくると感じました。また、広報ができるまでにはたくさんの方が関わっていることが分かりました。この体験を通して聞く力やまとめる力、取材する楽しさを味わえたので良かったです。



僕は2日間の体験を通してたくさんのお話を学びました。僕は初めにこういう仕事はインタビューをして写真を撮って作成をすればいいだけかと思っていましたが、インタビューをするまでには取材許可を取ったり紙面の作成計画を立てたりと様々な苦労があることを学びました。そして仕事にはコミュニケーションが必要だと感じました。記事の内容を考える時もほかの2人と話し合わなかったらできなかったと思います。僕の思っていた仕事のイメージが変わった職場体験学習でした。



取材では初めて会う人もいたのでとても緊張したけど、何を記事に書いたらいいかをよく考えて聞くことができました。加々見先生との取材では初めて知ることがたくさんありました。富士見町のいいところを知ることができて良かったです。記事を書くときは読む人に伝わりやすくするのが難しかったけど、自分たちが取材した事をしっかりまとめて書くことができたので良かったです。たくさん体験することができたのでこれからは活かしていきたいです。



※取材に協力していただいたみなさん、ありがとうございました。